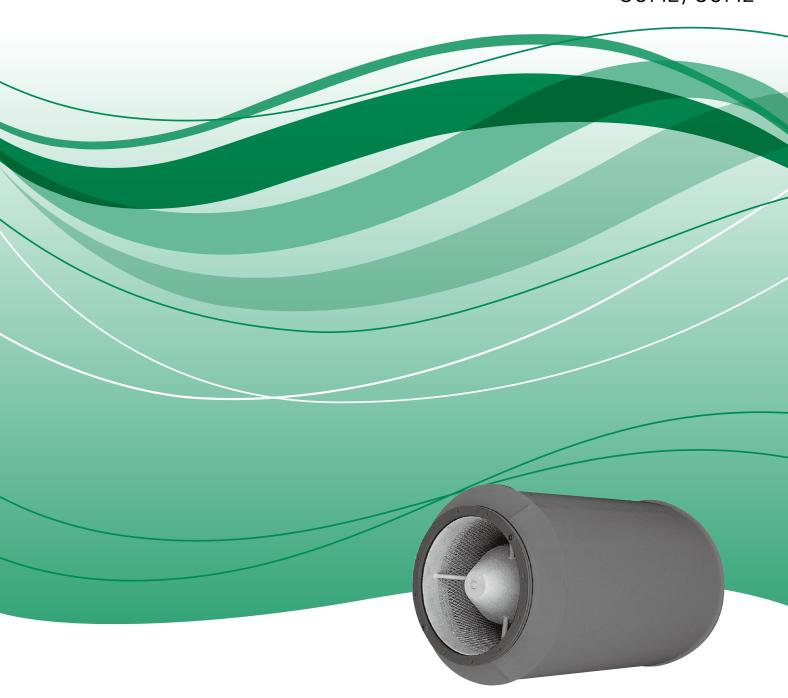
TERAL

CS/CSF

50Hz/60Hz



騒音許容度には外部に対するものと、内部に対するものとに分けて 考えることができます。

外部に対するものは公害として、多くの都市では騒音防止条例を定めて一定の騒音以下に規制されていますが内部に対しては居住環境の改善、作業場の騒音を制限して労働生産性を高めるなどの目的で、なるべく騒音許容度を低い値にすることが必要です。

当社サイレンサには、送風機・ブロワなどのダクトに用いられるCS型及びCSF型丸形ダクトサイレンサがあり、騒音源の種類、性状に応じて選択できるようになっております。

公害防止 静かな環境を 取りもどそう!!



※写真は代表例で、実際の機器とは一部異なる場合がありますのでご了承ください。

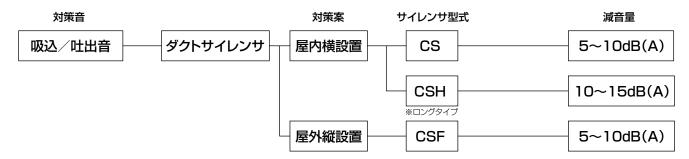
高密度な近代産業の発展に伴い、大気汚染、水質汚染、騒音など各種の公害が身近な問題としてクローズアップされてきましたが、将来への飛躍をはかるためには、これらの解決を前提にしなければならないことは周知のとおりです。

騒音は肉体、精神面ともに悪影響を与えるものでありますが当社は送風機、ブロワのメーカーとして、かねてから騒音除去について深い関心をよせ、騒音防止システムの開発に努力して参りました。

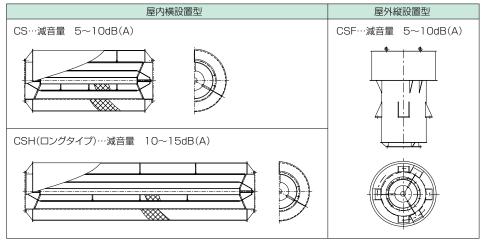
公害防止のため、快適な生活環境を得るために、あるいは労働環境を改善して生産性を高めるためにサイレンサのご採用をおすすめいたします。 エアーハンドリング・システムの合理的設計はとかく設置内の空気流速の高速化を伴い、送風機・ブロワも高圧なものを必要とする傾向がありますが、このことは同時に空気力学的な高騒音を付随することになります。

CS型丸形ダクトサイレンサは内部に吸音性の高いバッフルを内蔵したものでダクトの一部に代えて設置できますから取付に余分なスペースを必要とせず、しかも微少な抵抗損失で広い周波数範囲にわたって優れた減衰効果を発揮するプレハブサイレンサです。

■送風機発生騒音と対策



■ダクトサイレンサ構造



※減音量は目安であり、機種、設置条件等により実際とは異なることがありますので、ご注意ください。

■選定図 (CS/CSF 3~16)

(単位:m³/min)

							(+14	·1111/7/1111111/			
型	式	入口面積 通過空気量に対する抵抗損失 Pa									
空	IL	(m²)	50Pa	100Pa	150Pa	200Pa	250Pa	300Pa			
CS- 3	CSF- 3	0.0706	40	56	69	79	89	97			
CS- 3½	CSF- 31/2	0.0961	54	76	93	108	121	132			
CS- 4	CSF- 4	0.126	70	100	122	141	158	173			
CS- 4½	CSF- 41/2	0.159	89	127	156	180	202	220			
CS-5	CSF- 5	0.196	110	156	190	220	247	269			
CS- 5½	CSF- 5½	0.238	133	188	230	266	298	325			
CS- 6	CSF- 6	0.282	159	225	276	318	356	390			
CS- 6½	CSF- 61/2	0.332	186	264	322	374	420	455			
CS- 7	CSF- 7	0.385	216	307	375	433	488	530			
CS- 7½	CSF- 7½	0.441	248	351	430	497	560	609			
CS- 8	CSF- 8	0.502	283	400	490	566	637	695			
CS- 9	CSF- 9	0.635	358	507	620	716	808	880			
CS-10	CSF-10	0.785	441	625	765	883	990	1080			
CS-11	CSF-11	0.950	535	756	927	1070	1205	1310			
CS-12	CSF-12	1.130	635	900	1100	1270	1420	1556			
CS-13	CSF-13	1.327	750	1060	1295	1495	1673	1843			
CS-14	CSF-14	1.539	870	1230	1500	1740	1950	2120			
CS-15	CSF-15	1.766	996	1405	1720	1995	2240	2435			
CS-16	CSF-16	2.010	1135	1600	1960	2270	2550	2770			

■選定方法

- ①ダクト寸法を確認し、ダクト開口面積に近いダクトサイレンサ を選択する。
- ②通過空気量時のダクトサイレンサの抵抗損失を確認し、選定 送風機の要求仕様における静圧の余裕内かを確認する。
- ③設置方法と要求の減音量からダクトサイレンサを選定する。

選定例

要求仕様 通過空気量 250m³/min、

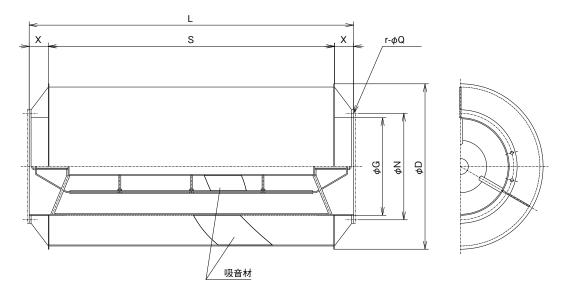
概略の減音量 5dB(A)←送風機の吸込音を落としたい。 設置場所 屋外

選定送風機 CTFI-No.5-OB 1630min⁻¹×15kW 要求仕様における静圧の余裕 200Pa ダクト開口寸法 **φ**600

選定

- 1) ダクト寸法から CS-6 型を選択する。
- 2)選定図(CS/CSF 3-16)より概略の抵抗損失値を読み取る。 約 125Pa
- 3) 選定送風機の要求仕様における静圧の余裕内であり問題無し。
- 4) 設置場所と要求減音量から「CSF-6 型」を選定する。

■外形寸法図 (CS 3~16)

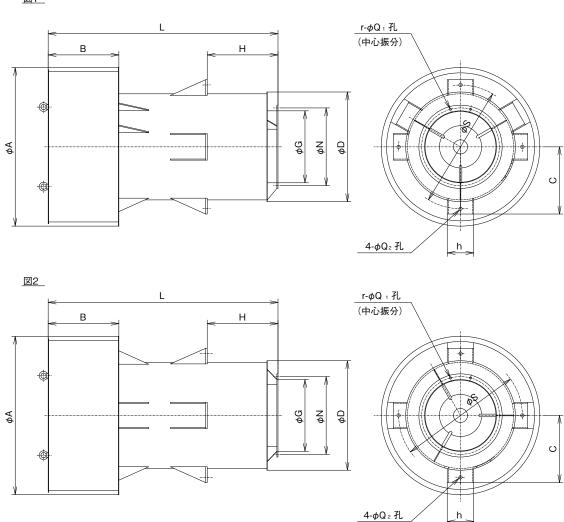


(単位:mm)

									(— <u>12</u> · · · · · · ·
型式		本 体	5			概算質量			
	φD	L	S	Х	φG	φN	r–φQ	平鋼	(kg)
CS- 3	520	1020	900	60	307	335	12-10	25 × 6	70
CS- 3½	570	1020	900	60	357	390	12-12	32 × 6	85
CS- 4	620	1020	900	60	407	440	12-12	32 × 6	94
CS- 4½	670	1020	900	60	457	490	12-12	32 × 6	110
CS- 5	720	1120	1000	60	507	540	12-15	32 × 6	125
CS- 5½	770	1220	1100	60	557	610	12-15	38 × 6	143
CS- 6	820	1320	1200	60	607	655	12-15	50 × 6	170
CS- 6½	870	1420	1300	60	657	705	12-15	50 × 6	195
CS- 7	920	1520	1400	60	707	755	16-15	50 × 6	225
CS- 7½	970	1620	1514	53	757	800	16-15	50 × 9	260
CS- 8	1020	1720	1600	60	807	850	16-15	50 × 9	300
CS- 9	1120	1930	1810	60	909	960	16-19	50 × 9	400
CS-10	1220	2130	2010	60	1009	1060	16-19	50 × 9	530
CS-11	1320	2240	2120	60	1109	1180	16-19	65 × 9	660
CS-12	1420	2440	2320	60	1209	1280	16-19	65 × 9	780
CS-13	1520	2640	2520	60	1309	1380	16-19	65 × 9	920
CS-14	1620	2840	2720	60	1409	1480	16-19	65 × 9	1050
CS-15	1720	3050	2880	85	1520	1600	16-19	75 × 9	1250
CS-16	1820	3250	3080	85	1600	1675	24-19	75 × 12	1400

■外形寸法図 (CSF 3~16)

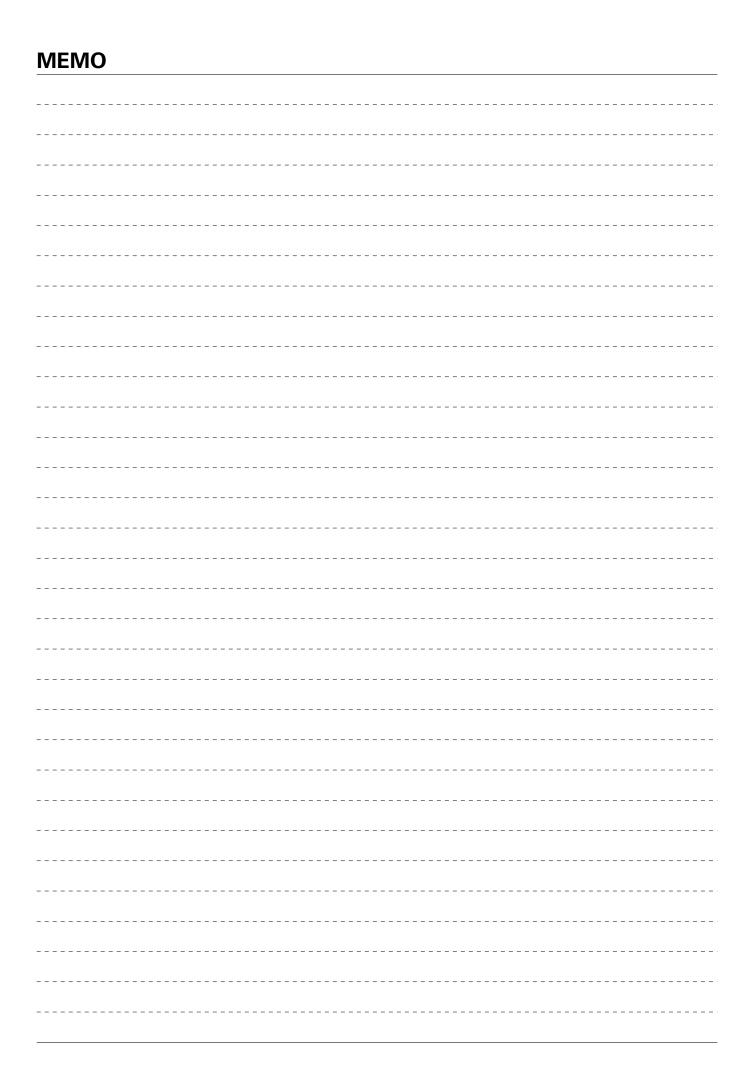


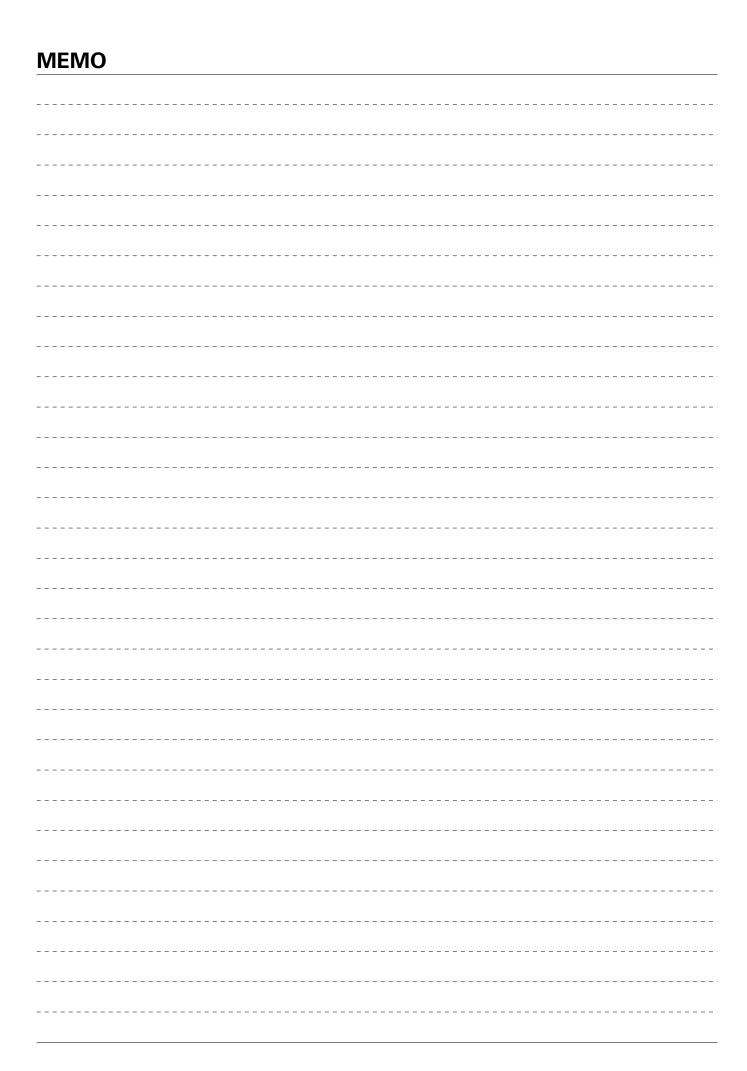


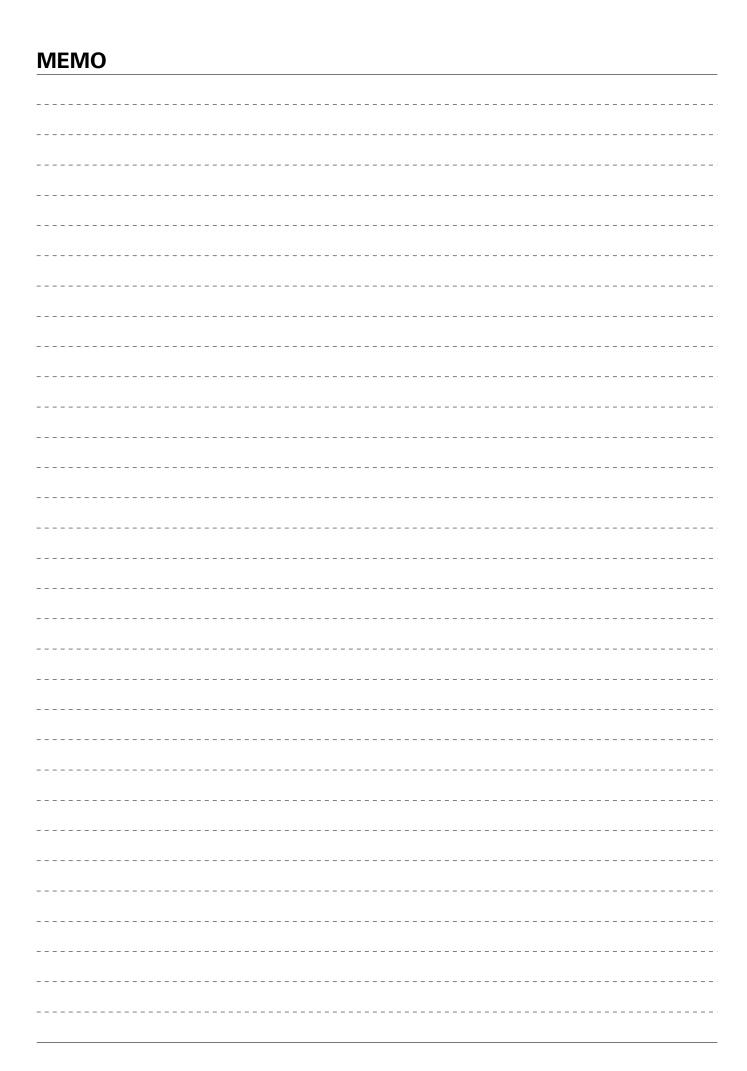
■寸法表

(単位:mm)

型式	本 体					取付脚				相フランジ				概算質量	
	ΦА	В	φD	Н	L	図	С	φS	h	φQ2	φG	φN	r−φQ1	平 鋼	(kg)
CSF- 3	712	300	520	400	1225		320	600	150	19	307	335	12-10	25 × 6	105
CSF- 31/2	807	350	570	400	1265		355	650	150	19	357	390	12-12	32 × 6	125
CSF- 4	897	400	620	400	1300		380	700	150	19	407	440	12-12	32 × 6	140
CSF- 41/2	987	450	670	400	1335		445	820	150	19	457	490	12-12	32 × 6	175
CSF- 5	1077	500	720	400	1470		470	870	150	19	507	540	12-15	32 × 6	200
CSF- 5½	1157	550	770	500	1610		495	920	150	19	557	610	12-15	38 × 6	250
CSF- 6	1265	600	820	500	1740	١,	550	1000	150	19	607	655	12-15	50 × 6	320
CSF- 6½	1355	650	870	600	1875] '	575	1050	150	19	657	705	12-15	50 × 6	370
CSF- 7	1445	700	920	700	2010		600	1100	150	19	707	755	16-15	50 × 6	420
CSF- 71/2	1553	750	970	800	2145		625	1150	150	19	757	800	16-15	50 × 9	490
CSF- 8	1643	800	1020	900	2280		650	1160	250	24	807	850	16-15	50 × 9	570
CSF- 9	1823	900	1120	1100	2560		700	1260	250	24	909	960	16-19	50 × 9	760
CSF-10	2008	1000	1220	1250	2830		750	1360	250	24	1009	1060	16-19	50 × 9	1000
CSF-11	2210	1100	1320	1160	3010		830	1500	300	28	1109	1180	16-19	65 × 9	1200
CSF-12	2390	1200	1420	1330	3280		880	1600	300	28	1209	1280	16-19	65 × 9	1500
CSF-13	2570	1300	1520	1500	3550		930	1700	300	28	1309	1380	16-19	65 × 9	1800
CSF-14	2750	1400	1620	1670	3820	2	980	1800	300	28	1409	1480	16-19	65 × 9	2100
CSF-15	2930	1500	1720	1840	4100		1030	1900	300	28	1520	1600	16-19	75 × 9	2500
CSF-16	3130	1600	1820	2010	4370		1080	2000	300	28	1600	1675	24-19	75 × 12	2900







TERAL

テラル株式会社

本 社 福山市御幸町森脇230 〒720-0003 TEL.084-955-1111 FAX.084-955-5777 **東京支社** 東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル6階 〒112-0004

www.teral.net

東京支社 東京産業システム課 東京都文京区後条2丁目3-27 テラル後条ビル6階 〒112-0004 TEL.03-3818-8101 FAX.03-3818-6798 東京環境システム課 東京都文京区後条2丁目3-27 テラル後条ビル5階 〒112-0004 TEL.03-3818-7766 FAX.03-3818-5031 東京 開発課 東京 工 事課 TEL.03-3818-764 FAX.03-3818-5031	静 岡 営 業 所 静岡市駿河区豊田3丁目2-15
東北支店 仙台営業所 仙台市宮城野区銀杏町39-25 〒983-0047 TEL 022-232-0115 FAX 022-238-9248 札幌営業所 札幌市中央区北11条西23丁目1-3 〒060-0011 TEL 011-644-2501 FAX 011-631-8998 郡山営業所 郡山市島1丁目13-9 〒963-8034 TEL 024-922-5122 FAX 024-922-4226 北関東支店	大阪第1営業所 吹田市岸部中5丁目1番1号
大 宮 営 業 所 さいたま市北区本郷町1234 7331-0802 TEL.048-665-4018 FAX.048-660-1018 新潟 営 業 所 新潟市中央区山二ツ5丁目6-21 7950-0922 TEL.025-287-5032 FAX.025-287-3719 FAX.025-287-3719 FAX.025-287-3719 FAX.025-287-3719 FAX.025-287-3809 FAX.025-287-3719 FAX.025-287-3809 FAX.025-287-3719 FAX.025-287-3809 FAX.025-287-3719 FAX.025-287-3809 FAX.025-287-387-3809 FAX.025-287-3809 FAX.025-287-38	南大阪営業所
前 橋 営 業 所 前橋市元総社町84-3	広 島 営 業 所 広島市西区三篠町3-12-21(第2ペルビィ三篠 1F) 〒733-0003 TEL.082-537-0660 FAX.082-537-0678 福 山 営 業 所 福山市御宇町森脇337-2 〒720-0003 TEL.084-961-0212 FAX.084-961-0211 ドルターライン 〒683-0004 TEL.0859-32-2970 FAX.0859-32-2971 同山 営 業 所 岡山市北区今7丁目6-13 〒700-0975 TEL.086-241-4221 FAX.086-241-4230 四 国 支 店
東京設備課立川営業所 立川市幸町3丁目32-9 TEL.03-3818-7799 FAX.03-3818-6787 立川市幸町3丁目32-9 TEL.042-538-2714 FAX.042-538-7080 千葉 営業所 大学には大学には大学にはいる。 アクアシスト工業営業所 横浜管業所 機派市神宗川区新連島町1丁目1-25(テク/ウェイブ100 10F) T221-0031 TEL.045-450-5351 FAX.045-450-5352	高 松 営 業 所 高松市東八七町4-5 7761-8054 TEL 087-867-4040 FAX 087-867-4042 松 山 営 業 所 松山市朝生田町2丁目1-33 7790-0952 TEL 089-935-4335 FAX 089-935-4331 九 州 支 店 福岡 営 業 所 福岡市博多区山王1丁目6-3 7812-0015 TEL 092-474-7161 FAX 092-474-7167 7803-0836 TEL 093-571-5731 FAX 093-591-0192
北 陸 支 店 支 店 中の	大 分 営 業 所 大分市仲酉町17目10-15 熊 本 営 業 所 熊本市東区上南郎2丁目7番12号 アクテンステンルカ、川営製所 長 崎 営 業 所 長崎市大橋町7-5(横山ビル 1F) 宮 崎 営 業 所 宮崎市大学芳士870 鹿 児 島 営業 所 鹿児島市荒田2丁目59-11
名古屋環境システム課 TEL.052-339-0875 FAX.052-339-0895 名古屋産業システム課 TEL.052-339-0891 FAX.052-339-0895 アクアシステム中郷営業所 TEL.052-332-6510 FAX.052-332-6513	●駐在員 盛岡、甲府、長野、徳島、高知、山口、久留米、沖縄



- ●ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ●電気工事はお買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。 配線などの据付け工事に不備があると感電や火災の原因になることがあります。
- ●決められた製品仕様以外でのご使用はしないでください。感電・火災・故障の原因になります。

本カタログの内容についての問い合わせは、お近くの販売店、もしくは当社におたずねください。 本カタログの記載内容は、2012年6月現在のものです。